

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年7月1日～2024年6月30日)



金澤建設株式会社 

発行日：2024年9月1日



目 次

1. 会社の概要	・・・	P 2
2. 主な環境負荷の実績	・・・	P 2
3. 対象範囲（認証・登録範囲（予定））	・・・	P 3
4. 推進組織図及び役割・責任・権限	・・・	P 3
5. 環境経営方針	・・・	P 4
6. 環境経営目標	・・・	P 5
7. 環境経営計画	・・・	P 6
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と その評価、並びに次年度の環境経営計画	・・・	P 7.P8
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	・・・	P 9
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・	P 10

1. 会社の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

金澤建設株式会社
代表取締役 金澤 孝剛

(2) 所在地

本 社 兵庫県川西市下加茂1丁目30番6-3号
資 材 倉 庫 兵庫県宝塚市安倉中5丁目14番26号

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 金澤孝剛
環境管理担当者 総務部長 松本照美
連絡先 TEL: 072-757-6363
FAX: 072-757-8721

(4) 事業の概要

舗装工事、土木工事、解体工事、管工事
許可番号・・・ 兵庫県知事 許可（特-4） 第208881号

(5) 事業規模

年間売上高 7億6千万円（2023年／7月～2024年／6月）

	本社	資材倉庫	合計
総従業員 2023.9.1現在	16人	無人	16人
延べ床面積	149㎡	948㎡	1,097㎡
敷地面積	156㎡	948㎡	1,104㎡

(6) 建設現場等の概要 （2023年／7月～2024年／6月）

元請工事 5件
下請工事 107件

(7) 会計年度 7月～翌年6月

2. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	全社排出量			
		2023年度	2022年度	2021年度	主なもの
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	176,451	157,025	154,475	電力・ガソリン・重機燃料
廃棄物排出量	t	862.10	1,614.40	657.70	
一般廃棄物	kg	640	658	676	
産業廃棄物	t	861.46	1,613.75	657	アスファルト・コンクリートガラ
水使用量	m ³	336	300	301	

使用した電力の二酸化炭素排出係数；0.334 kg-CO₂/kWh（関西電力、2018年度の調整後排出係数）

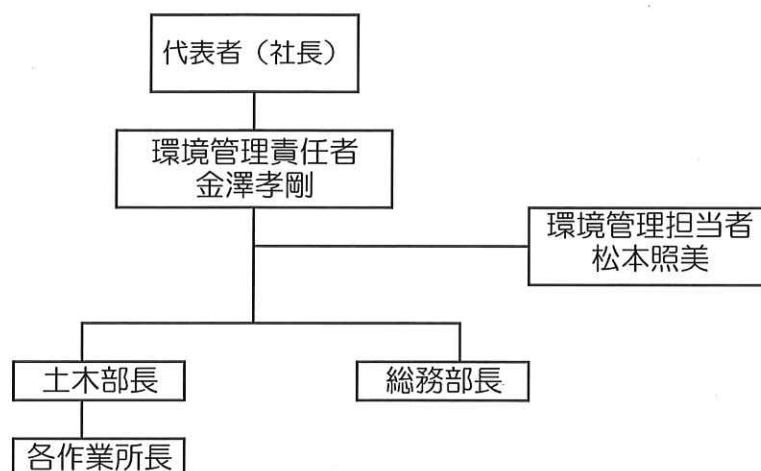
3. 対象範囲（認証・登録範囲）

事業活動： 舗装工事、土木工事、解体工事、管工事

対象事業所： 本社、資材倉庫

4. 推進組織図及び役割・責任・権限

【推進組織図】



【役割・責任・権限】

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表者(社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる ③環境経営目標、環境経営レポートを承認する ④資源（人・もの・金）の用意をする ⑤エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直し・指示を実施する
環境管理責任者	①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の承認をする ④環境経営レポートを作成する ⑤環境委員会の委員長としてEMS全般の舵取りを行い、実行を推進する
環境管理担当者	①EA21環境経営システムを構築し、文書化し、実行を推進する ②環境への負荷の自己チェックを実施する ③環境への取組の自己チェックを実施する ④環境管理責任者を補佐し、問題点の審議と解決策を立案する
部門長及び全従業員	①自部門の環境経営目標、環境活動計画の達成と実績の把握を行う ②環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境活動計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する環境関連法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
作業所長	①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる ②作業所の環境経営目標、活動計画の達成と実績の把握を行う

金澤建設株式会社 環境経営方針

スローガン！！

- ・最新型機械と鍛えた頭脳で、効率よく稼ぐ
- ・稼いだお金は、社員と社会に還元
- ・持続的好循環企業へ邁進

当社の経営理念の一つである「地域社会への貢献」に沿って、地球環境問題に積極的に取組み、川西市の自然環境を保護することを目的とし、当社の事業の発展と両立させる建設活動に努めます。

1. 当社は下記のとおり、事業活動に伴う環境負荷の低減、並びに工事施工時における環境配慮に努めます。
 - (1) 電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 水使用量の削減
 - (3) 廃棄物排出量の削減
 - (4) 環境に配慮した工事の推進
2. 関係する環境法規等並びに地元との約束等を遵守します。
3. 環境経営の継続的改善を図ります。
4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知し、社外へも公開します。

取組の重点分野

制定日：2020年 5月 1日
金澤建設株式会社
代表取締役 金澤孝剛

6. 環境経営目標

No.	環境経営目標	基準年度		2023年度目標		2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
		2022年度実績						
1	電力使用量の削減 (本社) ※1 (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 0.334	8,351	kWh	-1%	8,267	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%
	2,789	kg-CO ₂	2,761					
2	電力使用量の削減 (資材置場) ※1 (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 0.334	2,566	kWh	-1%	2,540	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%
	857	kg-CO ₂	848					
3	自動車燃料使用量の削減 ガソリン (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 2.32	10,984	ℓ	-1%	10,874	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%
	25,483	kg-CO ₂	25,228					
4	重機燃料使用量の削減 軽油 (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 2.58	46,700	ℓ	-1%	46,233	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%
	120,486	kg-CO ₂	119,281					
5	液化石油ガス使用量の削減 LPG ※4 (排出係数) (CO ₂ 排出量削減) 3.00	維持管理		-----		-----	-----	-----
6	二酸化炭素排出量 の削減	149,615	kg-CO ₂	-1%	148,118	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%
7	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上) ※2	65	%	+1%	66	前年度の実績 より +1%	前年度の実績 より +1%	前年度の実績 より +1%
8	一般廃棄物排出量 の削減	658	kg	-1%	651	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%
9	水使用量の削減	300	m ³	-1%	297	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%	前年度の実績 より -1%
	問題発生を未然に抑える 取組の推進 ※3	—	%	評価ポイント 90ポイント(%) 以上		評価ポイント 90ポイント(%) 以上	評価ポイント 90ポイント(%) 以上	評価ポイント 90ポイント(%) 以上

(注) 化学物質は使用していないため、目標に設定していない。

※1・電力の二酸化炭素排出係数：0.334 kg-CO₂/kWh (関西電力、2018年度の調整後排出係数)

※2・産業廃棄物のリサイクル率の向上；再生量(854.41t)÷発生量(861.46)=99.2%(2023年度実績)

※3・請け負った工事ごとに、現場代理人が「騒音・振動」、「水質汚濁」、「大気汚染」、

「建設廃棄物」に関する取組を項目ごとに点数評価し、下記の計算式でポイントを算出する。

ポイント(%) = 100 × 工事数 × 評価点数(実績) / 工事数 × 評価点数(満点(4))

※4・LPGは、アスファルト舗装工事の加熱に使用しており、品質上問題がある為、この使用量を削減する事は

出来ない為、数値設定は行っていない

7. 環境経営計画

No.	環境経営目標	環境経営目標の達成手段	スケジュール					実施体制 (責任者)
			全期	春期	夏期	秋期	冬期	
1	電力使用量の削減 (本社) (CO ₂ 排出量削減)	1.空調機の温度設定(夏期:28℃、冬期:20℃)			○		○	総務部 部長
		2.昼休みの消灯 3.不要照明の消灯	○					
		4.離席時のパソコン電源OFF	○					
2	電力使用量の削減 (資材置場) (CO ₂ 排出量削減)	1.空調機の温度設定(夏期:28℃、冬期:20℃)			○		○	工事部 部長
		2.昼休みの消灯 3.不要照明の消灯	○					
3	自動車燃料使用量の削減 ガソリン (CO ₂ 排出量削減)	1.アイドリングストップの徹底 2.急加速、急発進の防止	○					工事部 部長
		3.法定速度の順守 4.タイヤ空気圧の定期的点検	○					
		5.エコカーの導入	○					
4	重機燃料使用量の削減 軽油 (CO ₂ 排出量削減)	1.アイドリングストップの徹底 2.急加速、急発進の防止	○					工事部 部長
		3.法定速度の順守(ダンプ、トラック)	○					
		4.相乗りの励行(ダンプ、トラック)	○					
		5.タイヤ空気圧の定期的点検	○					
		6.過度な負荷をかけないアクセルワーク(重機)	○					
5	液化石油ガス使用量の削減 LPG (CO ₂ 排出量削減)	1.バーナーの使用時の効率化	○					工事部 部長
		2.ガスボンベを使い切る	○					
		3.適当な温度管理	○					
6	二酸化炭素排出量の削減	・NO.1～5 に従う						
7	産業廃棄物の削減 (リサイクル率向上)	1.建設廃棄物の分別徹底	○					工事部 部長
		2.不法投棄、不法処分リスクの無い処理業者への委託	○					
		3.保管基準の順守	○					
8	一般廃棄物排出量の削減	1.リサイクルを意識した一般ごみの分別	○					総務部 部長
		2.コピー紙の裏紙使用	○					
		3.詰め替え容器のある商品の選択	○					
9	水使用量の削減	1.水の流しっぱなしの防止	○					総務部 部長
		2.節水ステッカー貼付による節水意識の向上	○					
	問題発生を未然に抑える取組の推進	・ 請け負った工事ごとに、「騒音・振動」、「水質汚濁」、「大気汚染」、「建設廃棄物」について、適切な取組を実施(低騒音型重機使用、沈砂池の設置、排ガス第3次規制対応車使用、特定建設資材の100%リサイクルなど)	○					工事部 部長

8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

No.	環境経営目標 (環境経営方針との関連)	環境経営計画に基づき 実施した取組内容	評価 ※4	環境経営計画の実績 (2023年7月～2024年6月)		次年度の 環境経営計画
1	電力使用量の削減 (本社) (CO ₂ 排出量削減)	・昼休みの消灯	◎	単位	kg-CO ₂	・不在時のこまめな消灯などで効果は出てきている ・残業の短縮 ・空調使用時間の短縮
		・空調設定温度の励行	◎	目標	2,761	
		・部分消灯及びこまめな消灯	◎	実績	2,810	
		・離席時のパソコンOFF	○	達成率	98 %	
		・残業時間の短縮	×	達成状況 ※5	×	
2	電力使用量の削減 (資材置場) (CO ₂ 排出量削減)	・不要照明の消灯	◎	単位	kg-CO ₂	・不要な場所の消灯など意識向上が出来ている ・残業時間短縮の継続
		・部分消灯及びこまめな消灯	◎	目標	848	
		・残業時間の短縮	◎	実績	849	
				達成率	99 %	
				達成状況 ※5	×	
3	自動車燃料使用量の削減 (ガソリン) (CO ₂ 排出量削減)	・急発進の防止	◎	単位	kg-CO ₂	・ガソリン車両が減ったので達成出来た ・引き続き低燃費運転を継続し燃費走行する
		・アイドリングストップ	◎	目標	25,228	
		・相乗りの徹底	○	実績	15,734	
		・適正空気圧の確保	◎	達成率	160 %	
				達成状況 ※5	○	
4	重機燃料使用量の削減 (軽油) (CO ₂ 排出量削減)	・アイドリングストップ	◎	単位	kg-CO ₂	・軽油車両の増加により使用量は増加した ・引き続き低燃費運転を継続し燃費走行する
		・作業内容に応じたアクセルワークの実施	○	目標	119,281	
		・相乗りの励行	○	実績	151,268	
		・急発進の防止	◎	達成率	79 %	
				達成状況 ※5	×	
5	液化石油ガス使用量の削減 (LPG) (CO ₂ 排出量削減)	・バーナー使用時の効率化	◎	単位	kg-CO ₂	・維持管理 ・維持管理
		・ガスボンベを使い切る	○	目標		
		・適当な温度管理	○	実績	5,790	
				達成率	%	
				達成状況 ※5		
6	二酸化炭素排出量の削減 ※1	No.1～No.4 に記載		単位	kg-CO ₂	No.1～No.4 に記載 No.1～No.4 に記載
				目標	148,118	
				実績	170,661	
				達成率	87 %	
				達成状況 ※5	×	
7	産業廃棄物排出量の削減 ※2	・建設現場での分別強化	◎	単位	%	・廃棄物の細分化を強化した成果がでている ・更なる分別を徹底して、より減少に努める
		・不法投棄、不正処分のリスクの無い処分業者委託	◎	目標	66	
		・鉄くずの徹底細分化	◎	実績	99	
				達成率	150 %	
				達成状況 ※5	○	
8	一般廃棄物排出量の削減	・コピー用紙の裏紙使用	◎	単位	kg	・削減意識が浸透している ・印刷物は必要最小限にする
		・一般廃棄物分別の徹底による再資源化の推進	○	目標	651	
		・詰め替え容器の商品選択	◎	実績	640	
				達成率	102 %	
				達成状況 ※5	○	

8	水使用量の削減	・水の流しっぱなしの防止	◎	単位	m ³		・舗装工事の増加により散水量も増える	・不要時はこまめに止める
		・節水ステッカー貼付	◎	目標	297			
		・節水意識の向上	○	実績	336			
				達成率	88	%		
				達成状況 ※5	×			
9	問題発生を未然に抑える取組の推進 ※3	・工事における下記の環境配慮活動の実施		単位	%		（実施した工事の環境配慮）低騒音型重機使用、沈砂池の設置、排ガス第3次規制対応車使用、特定建設資材の100%リサイクルなど	・工事における環境配慮活動を更に徹底する
				目標	90			
				実績	100			
		(1)騒音・振動の低減	○	達成率	111	%		
		(2)水質汚濁の防止	◎	達成状況	○			
		(3)大気汚染の防止	◎					
		(4)建設廃棄物のリサイクル	◎					
実施体制		・実施体制（環境管理責任者、環境委員会並びに各目標ごとに設定された実施責任者）は有効に機能しており、これを継続する						

※1 灯油・都市ガス・LPG（資材倉庫）の値は含まれていない。

（使用量が少ないため、目標に設定していない）

※2 産業廃棄物のリサイクル率の向上(実績)；再生量(854.41t)÷発生量(861.46t)=99%

※3 問題発生を未然に抑える取組；ポイント(%)＝100×80点(実績)/80点(満点)＝100%

※4 評価：◎よくできた ○ほぼできた △あまりできなかった ×全くできなかった

※5 達成状況：○目標達成 ×目標未達成

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用される環境関連法規等の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。
また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

遵守評価日 2024年 7月 1日

適用される法令等		主な遵守すべき内容 ※	遵守状況
1	廃棄物処理法	処理業者との適正な契約書の締結並びに業者の許可証有効期限の確認	遵守
		マニフェスト伝票の管理（法定記載事項、照合確認、5年間保存）	遵守
		廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守
		マニフェスト交付状況の知事への報告（毎年6月30日までに）	遵守
2	建設リサイクル法	特定建設資材の再資源化（コンクリート、廃木材、アスファルト等）	遵守
		元請業者の発注者への再資源化に関する書面報告、並びに再資源化実施状況の記録作成と保存	遵守
		都道府県知事への事前届出の提出（工事着手の7日前まで）	遵守
3	騒音規制法	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前	遵守
		特定建設作業は敷地境界線において、85dB(A)を超えないこと	遵守
4	振動規制法	特定建設作業の事前届出：指定地域内、工事開始7日以前	遵守
		特定建設作業は敷地境界線において、75dB(A)を超えないこと	遵守
5	大気汚染防止法	解体等工事の受注者は、工事実施前に、特定工事に該当するか否かの調査を行い、発注者にその調査結果を記載した書面を交付して説明すること	遵守
		特定工事の発注者又は自主施工者は、作業開始日の14日前まで（兵庫県は工事開始日の7日前まで）に知事に届出	遵守
		解体工事施工時に掲示板を設け、調査結果を掲示	遵守
6	消防法	消火設備の定期点検、消火器の有効期限少量危険物の届出、点検	遵守
7	フロン排出抑制法	空調機の簡易点検（3か月以内ごと）及び廃棄後3年間までの記録保存	遵守
		・廃棄時におけるフロン類の回収依頼書又は委託確認書の交付 ・回収依頼書又は委託確認書並びに充填回収業者が交付した引取証明書の3年間保存	遵守
8	自治体との災害時 応援協定	災害発生時に応援派遣する	設備・ 体制確認

※ 紙面の都合のため、主要な遵守すべき内容を抜粋し、簡略的に記載しており、詳細は「環境法規制等一覧表兼順守評価記録」で管理している

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等は過去5年間、1件も発生しておりません。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し年月日：2024年 8月 28日

代表者：金澤 孝剛

作成者：松本 照美

見直しに必要な事項		環境管理担当者の報告	代表者による評価	変更の 必要性
環境経営 方針	環境経営方針に示された環境への取組の基本的方向は現在も適切か	環境経営方針は適切である	環境経営方針は変更しない	☐ 有り ☒ 無し
環境経営 目標及び 環境経営 計画	・環境経営目標・計画の達成状況は妥当か	・妥当である	削減意識が去年より浸透していると感じる。このまま継続し、分別・リサイクル・買取を活用し、より細分化しより良い環境を目指して削減していきたい	☐ 有り ☒ 無し
	・課題とチャンス	・取組を継続していく		
	・二酸化炭素排出量削減	・削減することができた		
	・廃棄物排出量削減	・削減することができた		
	・水使用量削減	・工事増加により出来なかった		
	・製品・環境性能の向上	・向上している		
その他の 環境経営 システム	・環境負荷の大きな変化	・大きな変化はなし	特に変化はない。適切に行われており、このまま継続していきたい	☐ 有り ☒ 無し
	・法規制等の遵守状況	・適切に遵守されている		
	・教育・訓練の実施	・適切に実施されている		
	・外部からの苦情や要望	・苦情、要望はなかった		
	・実施及び運用の適切性	・適切に運用されている		
	・緊急事態への準備状況	・適切に準備している		
	・取組の確認並びに是正の処置の状況	・問題はなかった		
	・環境レポートの作成と公表、活用状況	・適切に作成している		
実施体制	実施体制は効果的であり、変更の必要性はないか	実施体制は効果的である	実施体制は継続する	☐ 有り ☒ 無し
前回の代表者指示事項のフォローアップ	混合廃棄物の収容コンテナを廃止し、廃棄物の種類ごとに細分化したことにより、外国人がどの場所へ入れるのかを一目で理解できるようになり、廃棄物の減少に繋がり、環境対策にも繋がった。作業休憩時に車両ではなく、木陰で休息するなど、燃料削減にも繋がっていると思う。			
代表者の指示事項	混合廃棄物の減少をこのまま取組み、再資源化率を上げ続けたい。車両に積む荷物の確認をし、不要な荷物を減らす事で燃料削減に繋がっていききたい。			
代表者の総合評価※	全般に削減意識が高まってきていると思います。建設業である為、燃費・水の消費の増加は仕事量が増加した為仕方がない事であるが、工事の作業効率化を考え、環境配慮型の重機の活用で残業時間が無いように取組む事で、環境への配慮に繋がると思う。一人一人が、環境に対する配慮、削減意識を継続して持つ事が、結果 全体として大きな成果を上げる事に繋がるので、このまま取り組んでいきたいと思う。			

※次年度以降への展開を重点に記載する